



4月に新年度を迎え、皆様においては、お子様の入園や入学で新生活に慌ただしい日々を送っていることと思います。5月5日は「こどもの日」国民の祝日の1つで「端午の節句」でもあります。端午の節句は江戸時代以降は男の子の記念日となっていますが、「こどもの日」は男女の子どもの区別はなくて、子どもを産んでくれた母親に感謝する日でもあるそうです。ぜひ、家族みなでお祝いの日を迎えてください。

看護部では、今年約100名の新人看護師を迎えることができ、新人は集合研修を終えて各部署に配属となりました。新人も先輩も生き生きと働けるようにしっかりと支えていきたいと思えます。(担当：加藤より)

病院・看護部からのお知らせ

○令和4年度から病院執行部は新体制で病院運営に臨んでいます。新病院長は昨年まで副病院長を務めていた脳神経外科の川合謙介教授です。「新型コロナウイルス感染症対策や病院損益収支改善に対するこれまでの意識を共有しながら、これからはポストコロナも見据えて、4つの理念『患者中心の医療』『安全で質の高い医療』『地域と連携する医療』『地域医療に貢献する医療人の育成』を実現していきます。そのために、執行部は皆様に『病院を自分の家と、職員を自分の家族と』思ってもらえるような職場環境作りを目標とします。」(病院長講話より) Totalaに「病院長講話2022」を掲載しています。4月28日～6月30日まで視聴できますので、時間のある時にご視聴ください。(別紙参照)

○看護部の理念は今年度も「安心感と温もりのある患者中心の看護を提供します」です。2022年度の看護部目標は「①変化する医療情勢や患者のニーズに柔軟に対応し、患者満足度の向上を図る②安全で質の高い看護の提供を維持するために看護職員を育成する③働き方改革を推進し、職員満足度の向上を図る④質の高い看護実践と経営を意識した看護活動により病院収益の向上を図る」となりました。また、大海看護部長から、「一人ひとりの看護職員が、いきいきと働き、組織・チームとして力を発揮できる看護部組織」を目指すとの提言がありました。皆さんも復帰後一緒に頑張りましょう。

○創立50周年記念式典について

自治医科大学は1972年(昭和47年)に創立し今年で50周年を迎えます。5月14日に規模を縮小して式典が行われます。「医療の谷間に灯をともし」をキャッチフレーズに、医療に恵まれない地域の医療を確保し、地域住民の保健・福祉の増進を図るため、医の倫理に徹し、かつ高度な臨床的実力を有し、更に進んで地域の医療に貢献する医師を養成すると共に、医学の進歩にも貢献してきました。今後も、先端医療や高齢化社会、都市群の医療難民問題など「医療の谷間」が意味する領域は拡大かつ多様化してきており、真摯に向き合っていくとの内容が、ホームページに掲載されています。



「あいりす」からのお知らせ

4月から夜間保育の利用時間が変更となりました。夜間勤務時に利用しやすくなったと思いますので、復帰前に会員登録の検討をお勧めします。

(旧) 平日15時～翌朝10時 → (新) 平日14時～翌朝10時
メンバーも少し変わりました。同封した「あいりすだより」もご覧ください



育休面談について

今年度も、初回と中間の面談はWEB面談を実施します。担当の看護副部長が面談をします。面談の時期になりましたら、看護部庶務から電話連絡をしますのでよろしくお願ひします。職場復帰前の最終面談は看護部に来いただき総務担当の渡辺看護副部長と行います。育休通信レポートは、来院時(面談時)にまとめて提出をお願いします。

今回の資料

* 小児の発熱の病態生理

発疹を伴うウイルス感染症にまつわる発熱

小児看護2022年4月

* ACP・地域包括ケアにおける看仏連携の実際

ナースマネジャー 第23巻第4号 2021年6月号



5～6月の主な行事

- * 創立50周年記念式典 5月14日
- * 永年勤続表彰式 5月18日
- * 看護師・助産師採用試験
5月15日、6月4日、11日、12日、19日
- * インターシップ・病院見学会
5月11日



異例の速さで6月中に梅雨明けとなり、異常な暑さが続いています。皆様いかがお過ごしでしょうか。熱中症のニュースが毎日のように報道されていて、6月中の全国の熱中症者は15000人を超えたそうです。育休中の皆様には、7月8月の猛暑を健康に乗り越えていただければと思います。また、新型コロナ感染症対策にも気を付けながら、ご家族と一緒に夏休みを満喫できるといいですね。（担当：加藤より）

病院・看護部からのお知らせ

○付帯施設整備事業について

附属病院正面玄関前に、1階に事業者提案施設（敷地内薬局2店舗、タリーズコーヒー）と屋上にヘリポートのある立体駐車場棟【写真上】を、（子ども医療センター北側）に放射線治療棟【写真下】を整備する事業計画となっています。7月から着工しており、令和5年11月に竣工となる予定です。これに伴い、外来駐車場も一部狭くなっています。工事車両の出入りも多くなってくるので、病院に来院する際には、十分に注意してください。



○面会禁止から面会制限に変更

附属病院は昨年8月から面会禁止が続いていましたが、6月15日に面会制限へと変更になりました。新型コロナウイルスの感染状況が落ち着き、栃木県の警戒レベルも1に下がり変更となりました。患者1名につき1枚の面会許可証発行で1日15分以内と制限はありますが病室での面会が許可となりました。



○ふれあい看護体験

昨年は、予定していた時期に、新型コロナウイルスの感染が急激に拡大し急遽開催を中止しました。今年度も5月の開催は中止となりましたが、7月30日はやっと開催できる運びとなりました。60名の募集でしたが204名もの応募者数で、84名を受け入れる予定です。応募いただいた高校生は看護職に興味があり、職業として看護職を選択したいと考えている方が多いです。ふれあい看護体験で看護の魅力を十分に伝えられるよう看護部一同で対応したいと思います。もちろん、感染対策も十分に行い安全な環境で実施していきます。

小学生の発明のニュースから

今年4月に栃木県日光市の小学生6人が発明し商品化となった【さんぼセル】発売のニュースは皆さんご存じでしょうか？【さんぼセル】は既存の国内すべてのランドセルに取り付け可能な、2本の棒を使っていつでもキャリー化できるものです。本体はわずか280gでキャリー時の体感荷重はランドセル5kg時で体感約500gになり、約90%の重さを軽減できる優れたものです。小学生の発想に健康被害を研究する大学生らがサポートして完成したそうです。発売して約3000台の注文があり想像以上の売れ行きとなりました。ところが、ネットニュースサイトに1000件を超える批判コメントが書きこまれました。「ランドセルは子どもが転倒したときに頭を打たないためにあるんだ」「子どもがキャリーを引いて歩いたら体のバランスが悪くなる」「毎日背負って歩くことで下半身が鍛えられるのもつたいない」などです。子どもたちはこの批判に心を痛めましたが、「商品のことを大人に認めてもらいたい」との思いが強くなり諦めなかったそうです。子どもたちは「ランドセルが重い」という自らの問題を何とかしたいと考え発明に至っています。また、ネットでたたかれてもへこたれず、なぜ必要なのかを説明した文章をアップしました。素晴らしいと思い感動しました。この話題は先日ラジオでも取り上げられていました。

今回の資料

今回は、自治医科大学とちぎ子ども医療センターの保育士、とちぎ子ども医療センターの4階にある「おおり分教室」の教員が投稿した内容を紹介します。「子どもが当たり前の日常生活を過ごせる入院環境について」です。医療チームの一員として、当院での保育士の活動や院内学級の様子が伝わればと思っています。

* 楽しく育つ入院環境をつくる

～保育士の立場から～

* 楽しく学べる院内学級をつくる

～学習支援を超えてすべての時間を大切に～

小児看護 2022年6月号



育休面談について

初回・中間面接は顔の見えるWEB面談を行っています。職場復帰1～2か月前の面談は看護部に来ていただき対面で行います。いずれも面談の時期になりましたら看護部庶務から電話連絡しますのでよろしく願いいたします。育休通信レポートは、来院時や面談時に提出してください。

7～8月の主な行事

* ふれあい看護体験

7月30日（土）

* インターンシップ・病院見学会

8月5日（金） 8月17日（水）

8月24日（水） 8月25日（木）





9月になり、気温も少し下がり、空気も澄んで日常の物音が夏よりもいっそうよく聞こえてきています。秋ならではの虫の鳴き声などが夜遅くまで響いています。秋といえば、果物・野菜・魚とおいしい食べ物が旬を迎えるともグルメなシーズンです。皆さん大いに楽しんでください。(担当：加藤より)

病院・看護部からのお知らせ

○新型コロナウイルス感染症に関わる情報

育休通信第2号(7・8月号)を発行した時期は、感染状態が落ち着いていて、面会禁止から面会制限に変わったことのお知らせしました。その後、瞬く間にオミクロン株BA.5による第7波が到来し、7月26日から附属病院は再び面会禁止となっています。患者数も増え、一時期は一般病棟の一部でも新型コロナウイルス感染症患者を受け入れ対応しました。現在も重症部門のほかに7A病棟でも受け入れている状況です。

予防のためには、やはりワクチン接種が有効です。4回目のワクチン接種については、先日前お知らせを郵送しています。病院での接種を希望される方は、まだ予約可能です。市町での接種も可能ですので、ぜひご確認ください。

○節電の取り組みについて

世界的な燃料価格高騰や円安から、令和4年度は光熱費の大幅な高騰が予測されます。このまま、何も対策しなければ、病院では光熱費4億円以上の増加が予測されるそうです。ポータルサイトに「光熱費削減緊急特設ページ」が設置され、教職員全員に節電を呼びかけ、対策を立てて行動しています。院内の「省エネルギー推進委員会」で、多くの呼びかけを行っています。育休中でも、病院での取り組みについての理解も必要ですし、ご家庭でも参考になる情報があると思いますので、ぜひご確認ください。

○看護補助員へのタスクシフト

2022年度の診療報酬改定で「看護補助者の更なる活用に係る評価」が新設となりました。各部署で看護補助員への様々なタスクシフトが検討されているところですが、病院として看護補助員研修を開催することも必須となっています。今年度は、「チーム医療の一員として働きやすい環境を自ら考えることができる」を目的としてコミュニケーションについての研修を、稲田公認心理士を講師に10月開催します。

子どもに教えた3つの力

～子どもの心のコーチング 菅原裕子 (PHP文庫) より抜粋～

筆者は、子どもたちに生きる上で最も大切な3つのこと「愛すること」「責任」「人の役に立つ喜び」を教えましょと綴っています。

人が生きていくうえで最も大切な感情が「自己肯定感」です。自己肯定感は、人生の初期に、自分を保育してくれる人たちに愛されることによって身につけることのできる感情です。愛することは、親の最も重要な使命です。

責任というと、「ねばならない」もの、重くてできれば背負いたくないものという印象を受けます。でも、責任は英語で「RESPONSIBILITY」(反応する能力)を意味していて、日常の反応しなければならないことに対して、自分で積極的に反応することだそうです。環境づくりの第一歩は子供のやりたがりの芽が出てきたときにその邪魔をしないことです。子どもの仕事を取り上げないことで、自分ですべきことは自分でできるようにサポートしてあげることが大切です。幼いうちから自分の仕事を任されてきた子は、繰り返し自分の問題を解決してきて問題処理能力を身につけています。悩んだり考えたりと葛藤することが上手になります。

ほめることを動機づけの基本として使う親は子どもの中に「ほめられて動く種」を植えています。「叱られて動く種」を植える親もいます。子どもの動機づけに物を与えることもあります。ほめることも叱ることも物を与えることも全て外からの働きかけで本当のやる気にはなりません。子どもの中に子ども自身から湧き出るやる気の種「人の役に立つ喜び」を植えることで健全なやる気を保つことができます。



育休面談について

初回・中間面接はWEBで顔を見ながら面談を行っています。職場復帰1～2か月前の面談は今まで通り看護部に来ていただいで行います。いずれも面談の時期になりましたら看護部庶務から電話をしますのでよろしくお願ひいたします。レポートは、来院時や面談時に提出してください。

今回の資料

* 面会制限下の病院、施設でどのようなことが起きているか

石戸諭 (ノンフィクションライター)

看護展望 2022年7月

* 看護のベンチャービジネスを創る挑戦者たち

合田朝輝 (Filo代表)

看護展望 2022年9月



9～10月の主な行事

* 10月3日・6日・17日・21日 看護補助員・病棟クラーク合同研修会

* 10月7日(金)～9日(日) 薬師祭

* 10月29日(土) 看護研究発表会





秋が深まり、構内北側の銀杏並木の紅葉は今が見頃となっています。朝夕と日中の寒暖差が大きいので、皆様体調を崩したりしていませんか？今のご時世、発熱で風邪かな？と思っても、直ぐに病院で診察してもらえず、大変苦労しているのではないのでしょうか。先日私の家族も中耳炎の症状で耳鼻科に診てほしかつたのに、発熱のため自家用車の中で電話での診療、投薬となりました。新型コロナウイルス感染症の流行は日常的なことをいろいろと変化させていると実感しています。これからの季節、インフルエンザの流行も予測されていますので、感染予防には十分に注意してお過ごしください。(担当：加藤より)



病院・看護部からのお知らせ

○院内看護研究発表会の報告

10月29日(土)午前中に開催しました。先に学会で発表した演題を7名の方が発表しました。約160名の参加者があり、活発な質疑応答も繰り広げられ充実した発表会となりました。

○令和4年度 看護部講演会のお知らせ

12月21日(月)17時20分から研修センター大講堂で 開催します。今回は「レジリエントなナースの創り方 折れない心で働き続ける」の著者である江口智子先生をお招きします。しなやかな心、柔軟な考え方、突発的に起きた状況を抵抗せずに受け入れられる力、レジリエンスについて、高めていくための具体的な方法についてご講演いただけますと思います。事前申し込みは不要ですので、興味のある方、時間の許す方は育児休業中でも参加は大歓迎です。職員カードをご持参ください。

○新型コロナウイルス感染症対策による面会制限について

10月21日から「面会禁止」から「面会制限」になりました。原則、患者1名につき面会者1名の許可で成人は1回15分、小児は1回4時間の制限です。

○インターンシップ・病院見学会について

2024年採用者向けのインターンシップ・病院見学会を12月19日から開始します。来年にかけて、計14回の開催を予定しています。各病棟の先輩看護師の協力のもと実施いたします。

○新ユニホームについて

昨年の職員満足度調査で「ユニホームをスクラブタイプにしてほしい！」との意見を受け、今年度スクラブタイプを取り入れました。男女兼用で男性看護師にとっては初めての紺色ユニホームの導入となりました。



あいりすからのお知らせ

あいりすでは、一時託児・病児保育・夜間保育を行っています。お子様の預け先が急に受け入れられなくなったり、家族の事情でどこにもお願いができない事態が起きた時など、会員登録していれば預けることができます。パンフレットを同封しておりますので、ぜひ会員登録の検討をしてみてください。復帰前(直前でOK)の登録をお勧めします。

育休面談について

初回・中間面談はWEBで顔を見ながら行っています。職場復帰1~2か月前の面談は今まで通り看護部にきていただいで行います。いずれも面談の時期になりましたら看護部庶務から電話をしますのでよろしくお願い致します。レポートは、来院時や面談時に提出してください。

今回の資料

- *あまの橋架け 小児看護 2022年9月号~11月号
- *特集 特定行為看護師の育成と組織づくり
「病院が一丸となって取り組む特定行為看護師の育成と活動支援について」 看護展望 2022年10月号
(執筆は大海看護部長、福田看護副部長です)

11~12月の主な行事

- * 12月1日~12月12日
看護職員満足度調査
- * 12月19日(月)、22日(木)
インターンシップ・病院見学会
- * 12月21日(水) 看護部講演会

